



# 同窓会通信

第7号

2011. 3. 吉日発行  
島根県立大学同窓会事務局



## 島根県立大学 開学10周年



マスコットキャラクター



名称：オロリン

島根の神話に出てくる「オロチ」を  
かわいらしく響きがよいように名付けられました。

## CONTENTS

◆巻頭言	2
◆同窓会役員あいさつ	3
◆開学10周年記念事業／ホームカミングデー	3
◆平岡 都さん追悼募金について	6
◆各支部の動き／九州支部設立・各支部総会	7
◆会員の窓	8
◆大学からのお知らせ	12
◆平成22年度予算・事業内容	16
◆事務局からのお知らせ	17

◆巻頭言◆ 島根県立大学 学長 本田 雄一



同窓生の皆様におかれましては、全国各地、社会の各界各層で益々ご活躍のことと拝察し、お喜び申し上げます。

島根県立大学は昨年、創立10周年を迎え、大学祭の時期に合わせ、第1回目の「ホームカミングデー」を開催しました。

全国各地から、多くの同窓生の皆様にお出掛け頂き、後輩在学生との交流もあり、有意義で賑やかな再会の場となりました。遠路ご参加頂きました皆様には心から厚く御礼申し上げます。懇親会では、多くの同窓生の皆様から社会での活躍ぶりをご報告いただき、現在、島根県立大学をお預かりしている者として、大変嬉しく、また、勇気づけられる思いでお聞きしました。

本学は大学統合、法人化して4年が経過し、新しい大学制度の下でより一層の発展を図るべく平成22年4月1日、「島根県立大学憲章」を制定しました。「大学憲章」の前文では、地域の先人である西周が標榜した“「純理の学」から「実践の学」にわたる諸科学の統合」を大学の基本理念とし、「地域のニーズに応え、地域と協働し、地域に信頼される大学」、また、「北東アジアをはじめとする国際社会の発展に寄与する大学」を実現することを目標とすることを明確にしました。そして、憲章項目の第一に、「市民的教養を高め、主体的に学び、実践する人材を養成する」ことを掲げました。

また、「大学憲章」の制定に合わせて昨年10月、大学歌「鳥とともに」やマスコット・キャラクター「オロリン」を作成しました。大学歌の中では「人は 人を愛し、人は 人を信じ」、そして、「いきるきょうを、いきる あしたを」と謳い、大学の全構成員が心を一つにし力強く前進していくことを誓っています。マスコット・キャラクター「オロリン」は、出雲神話の「ヤマタノオロチ」をモチーフに、学章を胸に抱き本を携え、勇んで学問に励む姿をキャラクター化したもので、在学生や教職員、同窓生の皆さんをはじめ、多くの方々に親しんで頂けるものと思っています。

現在、日本では、18歳人口の減少が続き、大学全入時代を迎え、大学が入学生を選ぶ時代から大学が受験生によって選ばれるという厳しい時代状況の下にあります。本学では全構成員が「島根県立大学憲章」の下にベクトルを一つにし、大学の発展を期す覚悟でおります。同窓生の皆様におかれましては、今後とも母校島根県立大学のために、物心両面にわたってお力添え下さいますようお願い致します。

最後に、同窓会のご発展と同窓生の皆様の今後益々のご活躍をお祈り致します。

**◆同窓会役員あいさつ◆ 会長 児島 正俊**

桜の開花が待ち遠しい季節となりました。

同窓会の皆さんにおかれましては、お変わりなくお過ごしのことと思います。

と、申しつつこれを執筆している2月19日現在の浜田市は、昨年末からの大雪がようやく緩み始め、切に春の訪れを待っているところです。浜田市だけでなく、今冬は全国的に記録的な豪雪に見舞われ、皆さんの中にも大変な思いをされた方がおられるのではないのでしょうか。（私も中山間地域に住んでいるため、嫌というほど雪かきをしました。）

そんな中、心温まるニュースも多くありました。島根県ではおなじみのコンビニエンスストアポプラが国道9号線で積雪により渋滞しているドライバーにおにぎりを約700個配ったというエピソードが話題になりました。また、昨年のクリスマスには群馬県の児童相談所に、タイガーマスク名でランドセルがプレゼントされたのをきっかけに、全国にタイガーマスク運動が広がりました。無縁社会という言葉があたりまえのように語られる世の中でも、古き良き日本の伝統「困ったときはお互いさま」が生き続けていると感じられ、本当にうれしく思いました。

私は、本同窓会もポプラの従業員の方や、タイガーマスクのようにありたいと思っています。皆さんにおにぎりやランドセルは配れませんが、皆さんが仕事などで辛いときに少しでも手助けができればと思っています。私自身、同窓会の集まりでいろいろな期の同窓生の皆さんとお話しますが、頑張っている後輩たちと話をしているうちにたくさんの元気をもらいます。まだ一度も総会に参加されていなければ、ぜひ一度参加してみてください。参加が難しい方は、県大同窓会限定のSNS「kendai's bar」もありますので、一度覗いてみてください。皆さんを励ましてくれる友達に会えるはずですよ。

島根県立大学から生まれた縁を10年、20年と繋げていきたいと思っておりますので、今後とも変わらずのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

**◆開学10周年記念事業／ホームカミングデー◆**

昨年10月、島根県立大学開学10周年を記念し海遊祭に併せて「ホームカミングデー」が開催されました。第1部では記念式典、第2部は同窓会と海遊祭実行委員会との共同企画イベント、第3部は懇親会などを行い、ホームカミングデーの名のとおり多くの卒業生が県大に帰ってきてくれました。

中でも、同窓会と海遊祭実行委員会と共同で企画したイベントの「ケンダイ×ケータイゴング」は、専用サイトを利用し、携帯電話を使いその場で質問事項の回答を行い、その回答が即集計され発表できるというもので、「浜田市について、大学について、就職活動など身近な話題」を取り上げました。

参加した学生や同窓生、市民の方々からいろいろな意見が飛び出し、とてもエキサイティングなイベントになりました。 **同窓会会長 児島 正俊**



第2部 共同企画「ケンダイ×ケータイゴング」

- ★浜田市が一番の魅力は？  
「自然が豊か」「食べ物がおいしい」「人情」・・・
- ★浜田市に無いもので、欲しいものは？  
「映画館」「カフェ」「クラブ」「新幹線の駅」「活力」・・・
- ★大学が一番の魅力は？  
「環境」「先生」「就職支援」「学費」・・・
- ★仕事をする上で一番大切なことは何ですか？  
「チームワーク」「才能より、やる気」「責任感」  
「目的を持ち、メリハリ（オンオフ）をつける」・・・

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

第3部の「懇親会」には、総勢 120 名（国際短大卒業生・県立大学卒業生・在学生・教職員・浜田市職員）の参加があり、ビューラインの中では、それぞれの再会の場面がいくつも見受けられました。

● **参加者より感想を頂きました**

**1期卒業生 大田 美江**

第3部 懇親会

皆様、こんにちは！

平成 12 年に開学した私たちの母校「島根県立大学」が、10 周年を迎え、海遊祭初日の昨年 10 月 10 日に、「ホームカミングデー」が開催されました。

私もこの会を機に、久しぶりに浜田に行ってきました。

海遊祭に参加したのは、なんと卒業以来でした。

異文化理解研修の報告、講義室やカフェテリアのメニュー、寮など、普段見ることができない大学の様子を見て、久しぶりにお会いした先生方や友達と

「第 1 回目の海遊祭は遅くまで準備したのに、雨が降ったんですよ～！」「寮で遅くまで恋愛トークしたよね～！」などと 10 年前の昔話に花が咲きました。

また、今回は、海遊祭で卒業生がイベントを企画しました。

「浜田や大学が今後どのようになったらいいか？」という携帯を利用したアンケート方式のイベントで、意見交換をしながら予想以上の盛り上がりを見せました。

参加者のほとんどが卒業生。1 から大学づくりに携わることができると希望を抱き入学した私たちですが、10 年経った今も、まだ夢の途中であることに変わりはありません。卒業しても少しずつではありますが、





同窓会副会長の太田さん

大学づくりに関わっていきたいと思っている仲間がこの教室に集まっているのかな…とも思いました。

現在、私は、転勤で出身地の島根を離れ、香川県で働いています。今春、初めて県大卒の新入社員が入社する予定です。仕事では新入社員研修を担当しているので、4月に会えることをとても楽しみにしています。

卒業してからも母校との様々な縁を大切に、過ごしていけたらと思っています。

● 参加者より感想を頂きました

1期卒業生 村上 栄太郎

先日、島根県立大で開かれた「開学10周年事業・ホームカミングデー」に、妻（0期生、旧姓：川島佐江子）と2歳になる息子とともに出席しました。息子が終始ぐずり気味で、出席者の方に迷惑を掛けていないかと困惑しながらの参加でしたが、卒業した2004年以来会っていなかった旧友や後輩と近況について話すことができ、夫婦ともに楽しい時間を過ごしました。



村上さんご家族（奥様の佐江子さんと皓栄くん）

今回のホームカミングデーには、我が家以外の子連れはいなかったようですが、次回は多くの方が親子で来られるといいなと密かに期待しています。

さて、私の近況ですが、現在は新聞社の山陰中央新報社（本社・松江市）で記者をしています。記者といえば、政治家や事件を追い掛けるイメージを持つ人が多いとは思いますが、実際の仕事は多岐に渡ります。私は、医療や子育て分野を受け持ち、主に生活情報向けに“なるほど！ためになる”と感じてもらえる記事を模索しています。残念ながら、県立大浜田キャンパスにかかわる記事を書く機会は限られますが、時には一読者として関係した記事を読み、後輩の活躍に懐かしさや頼もしさを感じています。

月日が経つのは早いもので、私が大学を卒業して約7年が経過しました。開学当初からおられた先生方の多くが退官を迎えられ、寂しさを感じるとともに、時代の移り変わりを実感します。一方で、各方面で活躍する卒業生や積極的に地域で活動する学生が増え、大学が新たな段階へステップアップする準備が整ってきたと思います。

10周年を記念した催しの中で、「県立大は次のステージに入った」という言葉を何度か耳にしました。今回のホームカミングデーに参加し、私も卒業生として何ができるのかを考えたところ、記事を通してこの地に愛着を持ってもらうことではないかと確信しています。今後も後輩たちの活躍を祈りながら、興味を引く記事の執筆に励みたいと思います。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

島根県立大学開学10年ですので、1期生の方に10年の歩みも含めてご感想をいただきました。

10年の月日は長いようで短い感覚もありますが、それぞれご活躍の中でこうして母校や後輩、同窓生との繋がりを大切に下さる気持ちをとても有難く感じております。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

## ◆平岡 都さん追悼募金のお礼◆

平成 21 年 10 月 26 日（火）痛ましい事件の犠牲となった平岡都さんの御霊を慰めるとともに、同窓生で募金を募り、皆様から温かいお気持ちと合わせて多くの募金が集まりました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

頂いたお金は 114,000 円となり、平成 22 年 10 月 9 日のホームカミングデー開催時の第 3 部「懇親会」の場に於いて、同窓生を代表し児島会長より大学の本田学長に手渡されました。

本田学長からも、「同窓生の皆様のお気持ちを大切にし、大学の安全管理に努めていきます。」とお礼のお言葉を頂きました。頂いた募金の用途は、記念花壇に植える花苗の購入に充てられました。



### 手作りの 記念花壇「Garden of Hope」開園

平岡さんが抱いた「夢」・・・国際舞台で活躍する！

「世界から飢餓をなくそう」との崇高な理想に向かって活動を続けるかたわら、留学を希望されていました。

この夢を引継ぎ、一人ひとりが自らの「夢」の実現を誓うため花壇が開園されました。

花壇の設置作業は平成 22 年 8 月 24 日から開始。基礎工事、土づくり、堆肥づくり、枠の施工、花植えを手作業により全て作り上げました。参加した学生・教職員の人数は延べ約 400 名、命を次のいのちに繋げていく気持ちを表すために、平岡さんの追悼のために手向けられた献花から作った堆肥を使用しています。

銘板には、協定校である米国のモントレイ国際大学と、ロシアのロシア海洋国立大学（H22. 8.27 交流の覚書を締結）からのメッセージも刻まれています。

作業風景



『幾世代もの学生に都さんの夢を伝え続けますように』

講堂前広場に設置

記念花壇「Garden Of Hope」



## ◆九州支部が新たに設立◆

平成23年2月27日、九州新幹線開通より少し早く「九州支部」が設立されました。この九州支部の設立で、島根県立大学同窓会支部が「5支部」となり、日本全国を網羅しました。

支部長は、4期卒業生の鶴田 卓也さん。副支部長に6期卒業生の横田 晶子さんが決まり今後の九州支部の活動にご協力いただきます。

念願の設立にあたっては、同窓会本部役員の発声のもと呼びかけをし福岡県の天神で懇親会を開催しました。設立を楽しみにしていたという声もあり、同窓生の皆さんの母校に対する想いを感じる事ができ大変嬉しく思っております。

九州支部総勢128名



H23.2.27 博多天神のイムズビルにて

## ◆各支部総会◆

この4月で社会人8年目になる白根です。月日の流れは早いです…会社では中堅と言われるところになりました。

毎年同窓会を開催していますが、同期や後輩がいろんなところで活躍していることを聞き、非常に嬉しく感じます。

私も今年で三十路ですが、皆さんに負けなよう勉強したいと思います。

私も社会人になって、いろんな局面で苦労しました。

その時には、同窓会等で会う県大の卒業生との会話で気分転換できました。皆さんも悩んだときにはひとりで考え込まずに、昔の仲間に声をかけてみてはいかがでしょうか。

新たな発見があると思います。…というわけで、午後も仕事頑張ります。(会社にて作成)

**1期卒業生 白根 慎介(東日本支部・支部長)**



東日本支部総会



H22.11.13 大手町カンファレンスビジネスセンターにて



東海・北陸支部総会

こんにちは。支部長代理の赤松(旧姓:川本)です。

昨年11月の支部同窓会では参加いただきありがとうございました。

同窓会で初めてお話しする方も多かったのですが、同じ学び舎で過ごしたという思いからか、気がつくとも参加者全員が打ち解けて、楽しい時間を過ごすことができました!

これからも東海・北陸支部の皆さまと、仕事を離れてホッと一息つけるような同窓会を開催したいと思っております。

皆様のご参加をお待ちしております♪

**2期卒業生 赤松 未来(東海・北陸支部・副支部長)**



H22.11.27 名古屋市のアサヒビヤレストランにて

去る、2月5日(土) 山口県懇親会が、山口市内の居酒屋で開催されました。私を含め同窓生8名が参加し、来賓として田嶋名誉教授、堀内教授、スカリ一元教授が出席されました。

このような懇親会は初めての試みであり、会を企画し呼びかけ・実施まで苦勞を伴いました。しかしながら、県大を退官され、現在は山口県内在住の田嶋先生にアドバイスをいただき、また大学事務局の方にも案内文の発送等ご尽力してもらった事もあり、当日は、盛大に会を終える事ができました。

また、2010年度末をもって大学を退官される堀内先生の慰労会も含めて行い、田嶋先生から堀内先生の略歴が紹介され、堀内先生から私たちへエールが送られました。卒業後もこうして先生や同窓生と語り合えること、卒業年度の枠を越えこのようにフランクな形で集まれるのは本当に素晴らしい事だと実感し、あらためて県大生の良さを感じました。今後も、第2回第3回・・・と続けていけたらと思います。

**3期卒業生 岩藤 祐一(同窓会本部理事)**



山口県懇親会

H23.2.5 山口市小郡の魚民にて

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

22年度事業計画の中に九州支部立上げ支援事業を掲げ、計画通り念願の九州支部を設立する事が出来ました。これも、同窓会本部役員の皆様ならびに九州地区在住・同窓生の皆様方の母校に対する想いの賜物だと思っております。そして、東日本、東海・北陸は2年ぶり、大学開学10周年に併せてホームカミングデーを開催し、各地で元気にご活躍されている様子をお聞きする事ができました。年に一度、各支部で定期的に総会を開催しております。お気軽に参加して頂けるものですので、ぜひお元気な姿を見せに来てください。お待ちしております。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

## ◆ 会 員 の 窓 ◆

### ●各期の皆様から近況報告を頂きました

#### ★川上 昌宏(2期卒・島根県在住)

生まれ育った大阪を離れ、浜田での生活は、早いもので、8年が過ぎました。

現在、私は浜田市役所に勤務しています。所属は、税務課資産税係で、固定資産税を担当しています。業務内容は、土地や建物を評価したうえで、所有者に固定資産税の納税をお願いすることです。デスクワークに加えて、現場に出ることも多いです。

思えば、私が浜田に来るきっかけとなったのが、島根県立大学への進学です。初めて浜田に来た時、とんでもない田舎でがっかりしたことを覚えています。

しかし、学生生活を過ごしているうちに美しい海や山がある自然が豊かな浜田が好きになりました。友人たちと海釣りや温泉に行くなど、都会では味わえない満足な学生生活を過ごしました。

就職活動に失敗した私は、県大を卒業後、地元の大阪に帰りました。アルバイトをしたり、父親の会社を手伝ったりして1年が過ぎようとしていた頃、浜田市役所の職員採用試験があることを知り、ふと浜田が懐かしくなり、試験を受けました。結果、浜田市役所への就職が決まり、再び浜田で生活することとなりました。

浜田市役所で働き始めてからは、あっという間で気づけば4年が過ぎました。振り返ってみれば、仕事を始めた頃は、苦労や失敗の連続でした。しかし、職場の先輩や後輩に支えられ、現在では、浜田市に貢献することに喜びややりがいを感じる事が

出来るようになりました。また、職場の先輩や後輩を通じて、たくさんの友人ができ、浜田での生活を満喫しております。

★深田 武(4期卒・島根県在住)



写真：右・・・深田さん（4期生）

左・・・永原綾子さん（7期生）※同職場 / 浜田支店前で撮影

みなさんお久しぶりです。お元気ですか？

早いもので、私が卒業してから間もなく4年の歳月が経とうとしています。

卒業後、私は地元の金融機関に就職し、1回の転勤を経て、今は松江の本店で勤務しております。最初は仕事が全く分からず、毎日ミスばかりしていましたが、職場の上司や先輩方の指導もあり、今では一人でお客様の担当を任せられるようになりました。しかし、毎日が勉強の連続であり、お客様との交渉や相談等に対するアドバイスが上達するようになるまでには、まだまだ努力が必要です。

さて、今年1月には、在学生のキャリア形成講座に参加する機会を頂きました。講座では、未熟な私が発言すること自体恐縮ではありましたが、私自身

が逆に在学生の「就職活動に対する真剣な姿勢」を見て、多くの刺激を受けました。当講座に参加された方の発言にもありましたが、これからも島根県立大学の卒業生としての誇りを持って、社会人として努力していきたいと感じましたし、卒業生の皆で陰ながら大学を支えていくことが出来れば良いのではないかと考えます。

ところで、私にとって、あとはプライベートの充実が絶対不可欠です。学生時代は野球に明け暮れる日々。悪い癖は直らず、社会人になると、仕事とたまたま地元の野球クラブの活動に明け暮れてしまっております。

これを読んでおられる皆さん、近況報告も兼ねて、また「飲み会」でも開催しましょうね。

★山本 寛(5期卒・愛知県在住)

初めまして、こんにちは。島根県立大学5期生の山本寛です。月日が経つのは早いもので、いつの間

にやら大学を卒業してから四度目の春の息吹を感じております。

今は愛知県名古屋市で生活しており、雑多な毎日の中、時折写真などを見返しては大学時代に感じたこと、学んだことなどを思い返しています。思えばあの四年間はかけがえのない時間でした。大学時代に知り合った仲間、先輩、後輩。今はほとんど疎遠になってしまったのですが、風の噂で仲間たちの近況を小耳に挟んだときには人知れずほっとしています。みなさん、公私共々青春を謳歌されているんだなあと励みになります。

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、大学を卒業してからしばらくしてバイクの免許を取得しました。高校のときからずっと欲しいほしいと思っていたのですが、なかなか取得することが出来ず、社会人になってからこつことお金を貯めて取得しました。今は大型自動二輪の免許も取得し、どっぷりバイクにはまっています。

### ★三浦 翼(7期卒・東京都在住)



東日本支部総会時の三浦さん

島根県立大学の皆さん、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。事務局から「会員の窓」の原稿を頼まれた時は、とても驚いたと同時に大学時代の友人やお世話になった先生方のことを懐かしく思い出しました。

振り返ってみると去年の1月から東京で就職活動を始め、4月の終わり頃に運よく今の会社から内定いただきました(笑)東京にいた3ヶ月間は長かったようで、短かったです。

愛知県は非常にバイクが盛んで私も100名以上のライダーと知り合うことが出来ました。その中で愛知でライダーをしていたら絶対にこの人には知り合うという有名なライダーがいます。年齢54歳。妻子持ち。孫もいるそうです。その方曰く、「ホント、いくつになってもバイクからは降りれないよ。」日帰り500kmを越えるツーリング中に54歳とは思えない子供のような満面の笑みでそう言われたら、こちら納得せざるを得ません。日々生活している中で、胸の内に潜んでいる暗く、もやもやとした不安は計り知れないほど大きいです。そんな不安に負けることなく、焦ることなく、日々精進していきたい。いつの日か54歳の自分になったときにも、このライダーのように笑って生きていきたい。そんな出会いを重ねながら、毎日を過ごして行きたいと思います。



ツーリング中の山本さん

私は今、食肉の貿易会社(世間で一般的に言われている商社)で勤務しております。商社というと皆さんはどのようなイメージをお持ちでしょうか。堅苦しい…何をやっているのかわからない…などのマイナスイメージをお持ちの方もいるでしょう。片や、世界を飛び回り、大口商談を次々と纏めていくといった華やかなイメージをお持ちの方もいるのではないのでしょうか。会社によって社風や環境が異なりますので、一概に商社のイメージは〇〇だとは言えま

せんが、位置づけとして、日本国内のメーカーと海外の工場あるいはメーカーの間に入り、できるだけ双方の要望に応え、叶えていく存在と言えます。

私の場合、海外の工場担当は中国でそこで作ったサンプルが、日本のメーカーの要望に近ければ契約へと繋がります。そして、商品を海運し通関が完了すれば引き渡しとなります。

### ★内田 裕紀:旧姓 古賀(1期卒・島根県在住)

春光さわやかな季節となりました。

この度、島根県立大学を巣立たれた第8期生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。

私は卒業して7年目の春を迎えました。現在は松江市で、指定管理者として県の施設を管理運営する仕事に携わっております。毎日多くの方が利用される施設で、人と接することが好きな私にとってはとても楽しい職場です。公の施設としての公共性を維持しながら、民間の会社ならではの利点を発揮することが求められ、難しい面もありますがその分やりがいも感じています。利用者・行政・自社それぞれにとって最善の方策を、できるだけ多角的な視点から考えるように心掛けています。

仕事以外では、「演劇によるまちづくり」をすすめているNPOでのボランティア活動を、数年前から続けています。昨年は3年に1度の大きなイベント「八雲国際演劇祭」が開催され、各国の劇団員や全国からのお客様で小さな街が大変盛り上がりしました。それを支える数百人のスタッフのほとんどがボランティア、全国的にもめずらしい取り組みです。

### ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

今号も同窓生の皆様に「近況報告等」についての執筆をお願いしたところ、快くお引き受け下さいました。

ご多忙の折、原稿作成のためにお時間を割いて頂きどうもありがとうございました。

この近況報告等で、公私ともにご活躍の皆様のお姿を想像させていただいております。その中で、社会での経験年数により仕事や地域の見方に変化が生じているのを感じます。 良い事もそうでない事も、いろいろな経験が力になりますのでこれからもお元気でご活躍ください！ 次回もまた皆様に執筆のご協力をお願いしますがどうぞ宜しくお願いいたします。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

現在入社して1年も経っていませんが、会食や海外出張などに行かせていただいております、社会人としての経験を積んでいるところです。一日でも早く一人前になれるよう今でも勉強の毎日です。

在学中の学生たちには、都会の学生にも負けなくらいよく遊び、よく学んでほしいです。



ボランティア活動で各国の皆様と一緒に内田さん(左側2列目の端)

地元の方や海外の方、また幅広い世代の方との絆を深めながらひとつの目標を達成した時には大きな感動を味わうことができました。

仕事でも地域での活動においても、多くの人に支えられていることを実感する日々です。また、大学時代の同級生や後輩、職員さん、保護者の方などお会いする機会も多く、松江市でも島根県立大学の輪が広がっていることを大変嬉しく思っています。これからもこのような人とのつながり、地域とのつながりを大切にしていきたいと思っております。

## ◆大学からのお知らせ◆



島根県立大学「開学10周年記念」として

平成22年10月10日(日)、講堂にて「記念式典」が挙行され、会場には来賓、卒業生、在校生、教職員、市民の皆様250名が集い共に開学10周年を祝いました。

式典では、「10年の歩み」の上映後、大学の運営に学内外を問わず関わっていただいた団体、個人の皆様に感謝状を贈呈、その後「マスコットキャラクター」と「大学歌」の発表・披露が行われました。

この「マスコットキャラクター」と「大学歌」は、平成22年4月、法人化した新しい制度に相応しい大学の理念・目標として「島根県立大学憲章」が定められ、この憲章の精神を一層発揚し、3キャンパスが一体となって共通の理念実現に邁進する機運を醸成するため、憲章のイメージを反映した「マスコットキャラクター」と、憲章の趣旨を反映させ学生、卒業生、教職員がこれを末永く愛唱することで3キャンパスの融合と母校愛の涵養に資するため「大学歌」が制定されました。

## ◆◆「マスコットキャラクター」・・・「オロリン」誕生

全国からの一般公募(244点)により、厳正なる審査を経て決定しました。

島根の神話に出てくるオロチの精をモチーフに、愛くるしく明るい表情の中にも熱い意志を持ち、本を片手に常に学ぶ姿勢からは、大学に関わるすべてのものあるべき姿を象徴しているように見えます。「オロリン」の今後の活躍にご期待下さい!



## ◆◆「大学歌」

作詞を、平田 俊子先生(詩人・劇作家・小説家)、作曲を寺嶋 陸也先生(東京藝術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了)にご依頼し、島根の空や海をイメージされ作って下さいました。

海の名前も大学の名前も歌詞に入っていないのは、大学を卒業後よその土地に行ってもこの歌をかたわらに置いて欲しい、鳥や星とともに生きている事をいつまでも忘れないで欲しいとの想いからです。

鳥とともに

朝がつれてくる 鳥の歌声  
心に響く鳥の言葉はわからないのに  
いとおいしいのはなぜだろう

見上げれば はるかな空

見渡せば ゆたかな海

ゆるぎない 大地のただなか

人は 人を愛し

人は 人を信じ

生きる きょうを

生きる あしたを

鳥の歌声と ともに

夜がつれてくる 星の輝き

心を照らす

星の言葉はわからないのに

なつかしいのはなぜだろう

いつまでも 忘れなければ

いつの日か 夢はかなう

果てしない 時のただなか

人は 人を求め

人は 人を救し

生きる きょうを

生きる あしたを

星の輝きと ともに

**◆◆島根県立大学 10 年の歩み**

島根県立大学は平成 12 年 4 月、県立国際短期大学の伝統を引継いで開学し、本年（平成 22 年）満 10 年を迎えました。簡略ですが 10 年の歩みを掲載いたします。

平成 5 年 4 月 1 日	島根県立国際短期大学 開学（H13. 3. 31 閉学）
平成 12 年 4 月 1 日	島根県立大学 開学 ・総合政策学部総合政策学科／・北東アジア地域研究センター 宇野 重昭学長就任
平成 13 年 1 月	大学入試センター試験に参加
平成 15 年 4 月 1 日	島根県立大学 大学院開設 ・北東アジア研究科（博士課程）／・開発研究科（修士課程）
平成 16 年 3 月 19 日	第 1 回卒業式授与式 島根県立大学 同窓会設立総会
平成 19 年 4 月 1 日	公立大学法人 島根県立大学法人設立式／シンボルマー発表 宇野 重昭理事長・学長就任
平成 21 年 3 月 31 日	宇野重昭理事長・学長退任
平成 21 年 4 月 1 日	本田 雄一理事長・学長就任 大学院再編／北東アジア開発研究科（区分制博士課程）開設
平成 22 年 4 月 1 日	島根県立大学憲章 制定
平成 22 年 9 月 1 日	島根県立大学歌／マスコットキャラクター制定

**◆◆島根県立大学憲章**

1. 市民的教養を高め、主体的に学び、実践する人材を養成する
2. 現代社会の諸課題に対応した“諸科学の統合”を実践する
3. 地域の課題を多角的に研究し、市民や学生の地域活動を積極的に支援して、地域に貢献する
4. 北東アジア地域をはじめとする国際的な研究教育の拠点を構築する
5. 自立と協同、透明性が高く機能性に優れた大学運営を行う

**◆◆オープンキャンパス**
**学友会 執行委員会会長 2 年 高田 昭徳**

今年も、7 月と 9 月に浜田キャンパスのオープンキャンパスが開催され、多くの高校生・保護者の方々が参加してくれました。

2 回のオープンキャンパスの翌日は A0 入試が控えていたのか、多くの高校生に緊張が見られました。広島・益田・江津からの送迎バスには、大学生のボランティアスタッフも添乗し、大学の説明、学生生活、また、プライベートなことまでの幅広いの質問に対して、優しく、楽しく答えていて、盛り上がりました。

今回、私は講堂で高校生を前に、プレゼンをし、そこでは高校生たちの真剣さを身近で感じることができました。ランチ交流会や学生相談でも、大学生スタッフと仲良く会話する姿をみることで、会話では、やはり大学生活について質問されることが多く、島根県立大学についてもっと知りたいという熱意が伝わってきました。高校生や保護者の方々に「島根県立大学はこんなにもいいところだ！」ということをアピールし、さらに多くの人にここ島根県立大学のオープンキャンパスに参加してもらえることを願っています。



## ●平成 23 年度新任教員

- ・生田 泰亮(いくた やすあき) 講師/現代企業論、組織行動論、キャリア論
- ・岡本 寛 (おかもと ひろし) 講師/憲法 I、フレッシュマン・スキルセミナー
- ・久保田 典男(くぼた のりお) 講師/中小企業論、地域産業政策論、ベンチャービジネス論
- ・中川 敦 (なかがわ あつし) 講師/福祉社会論、社会保障論、福祉政策論

## ●退任のあいさつ

島根県立大学卒業生のみなさまへ

皆様ますますご健勝のことお喜び申し上げます。いかがお過ごしでございましょうか。

小生は、平成 12 年 4 月島根県立大学開学と同時に赴任し、本年 3 月末にて 11 年が過ぎようとしております。卒業生の皆様は、厳しい社会経済環境の中で社会人としてご活躍のご様子うれしく拝見しております。島根県立大学も、社会から評価され就職率や就職内容も平成 19 年、平成 20 年度の卒業生は就職率 99.5%と、順調な推移を見せ全国トップクラスの大学として高い評価を得ております。これもひとえに皆様方のご活躍の賜物と思っております。

小生は、今 3 月末にて 70 歳の定年退職を迎えました。皆さんと共に過ごした浜田の生活も振り返ると楽しかった思い出が多く思い出され、アッと過ぎ去った感じが致します。

1 年目に島根県内企業を回ったところ、4 年制卒業生は一人もいないと言われ、キャリア教育にのめり込んでしまいました。皆様には印象つけるために失礼な表現が多くあったことと思います。このことも確信犯でございます。どうかお許しください。これからは、埼玉に帰りゆっくりした時間を過ごそうと思っております。皆様のご健勝とご活躍をお祈り致しております。

草々

堀内 好浩

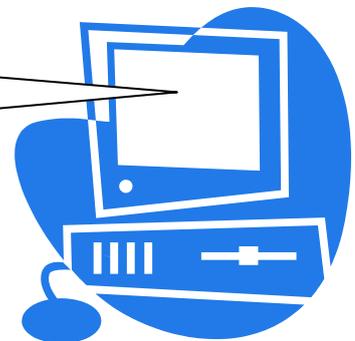
## ◆◆大学ホームページ・リニューアルのお知らせ



島根県立大学の ホームページがリニューアル をします！

★★6 月公開予定★★

<http://www.u-shimane.ac.jp/>



卒業生の皆さまにも県大の今を知ってもらうために  
様々なコンテンツを用意しています。是非チェックをしてみてください。

**◆平成22年度予算及び事業計画◆**
**◆平成22年度 収支予算**
**◆収入**

(単位:円)

科目 項目	前年度予算額	本年度予算額	増減	備考
会費	0	0	0	本部規約改正により、卒業時の徴収とし、H21年度入学生が卒業する際に徴収を再開
寄付金	10,000	10,000	0	
雑入	1,000	1,000	0	利息収入等
10周年記念事業(ホームカミングデー)	0	150,000	150,000	参加費収入
前期繰越金	6,677,453	6,255,259	-422,194	
合計	6,688,453	6,416,259	-272,194	

**◆支出**

科目 項目	前年度予算額	本年度予算額	増減	備考
事業費	642,000	682,000	40,000	
講演会等	0	0	0	在校生への進路・就職活動支援
福利厚生	0	0	0	
会報作成	187,000	141,000	-46,000	発送費用(1~7期生、大学院生一部約1550名)
会員名簿	0	0	0	
支部設立準備費	30,000	30,000	0	九州支部(仮称)設立に伴う準備会の開催経費
支部総会等	425,000	361,000	-64,000	東日本、東海・北陸、中国・四国支部総会開催費用(会場代) 案内状発送費用、支部役員会開催費用
10周年記念事業(ホームカミング)	0	150,000	150,000	10周年記念事業(ホームカミングデー)開催に対する飲食費ほか
総会費	226,000	0	-226,000	
役員会費	320,000	66,000	-254,000	
理事会費	220,000	66,000	-154,000	会議運営費、費用弁償、案内状発送費用
幹事会費	100,000	0	-100,000	
事務費	20,000	20,000	0	
予備費	100,000	100,000	0	
繰越金	5,380,453	5,548,259	167,806	
合計	6,688,453	6,416,259	-272,194	

(参考)	H21年度予算額	H22年度予算額	増減
支出(繰越金を除く)	1,308,000	868,000	-440,000

**【特別会計】**

科目	前年度予算額	予算額	増減	備考
平岡さん事件に対する募金	0	100000	100000	防犯活動に関する募金収入
合計	0	100000	100000	

## ◆平成22年度の主な事業内容（計画・実行分含む）

1. 同窓会運営に関する事業
  - (1) 理事会2回（H22.5.28、10.10）
  - (2) 地域支部設立支援事業（九州支部 H23.2.27 設立認可）
  - (3) 支部活動支援事業（東日本支部 H22.11.13、東海・北陸支部 H22.11.27）
2. 島根県立大学の後援に関する事業
  - (1) 在学生への進路・就職活動支援（キャリア形成講座での講演OB・OG訪問の受け入れなど）
    - ・キャリア形成講座（2期生1名、3期生2名、4期生1名、5期生2名、6期生1名の計6名が出席）
    - ・OB・OG訪問受け入れ（3月10日時点 計30名受け入れ）
    - ・夏季合宿時の卒業生と在学生との懇親会（H22.8月東京合宿：OB・OG参加14名）
  - (2) 大学設立10周年記念事業「ホームカミングデー」への参加
    - ・42名の出席（1期生16名、2期生6名、3期生4名、5期生4名、6期生9名、7期生3名）

## ◆事務局からのお知らせ◆



島根県立大学同窓会 メーリングリストについて

「島根県立大学同窓会メーリングリスト」が誕生しました。

「近況報告」「集まりませんか？」などなど…皆さんとの繋がりを続けていきましょう

- 内 容 事務局からのお知らせ等のほか、同窓会会員同士での情報交換、近況報告などに活用。
- 構 成 「支部用」 ※支部内での情報交換
- 登録メンバー 島根県立大学同窓会会員・・・「卒業生／修了生台帳記入のアドレス」「変更連絡を頂いたアドレス」を登録しています。

※アドレス・お名前・住所等の変更があれば事務局までご連絡下さい。

※卒業時にアドレス未登録で、参加ご希望の方も追加登録ができますので [下記事務局アドレスへ](#)  
ご連絡をお願いします。 ※P18の右下記載

- 変更事項等の通知について ①お名前 ②住所 ③携帯番号 ④卒業期（例：2010年3月卒 7期生）  
をご明記の上お知らせください。

- 投稿について・・・皆さまの投稿は「各支部会員のみ」に送信されます。

投稿の際は【個人情報】等の記載にご注意！！ください。

★「全会員への投稿」を希望される方は、一度、送信元のグループ管理者（事務局）へ  
お問い合わせいただき、投稿文をお送り下さい。事務局にて全会員へ送信します。

★投稿先の間違えなどトラブルを防ぐため、皆様には支部用アドレスのみ管理いただきます。

※なお、事務局では【投稿内容についての承認はおこなっておりません】

- 同窓生からのご要望により誕生したメーリングリストですので、ぜひ皆様もご活用ください！！

以上、皆様の使いやすい運営を心がけておりますので、ご理解とご協力を頂きますよう何卒よろしくお願  
致します。



県大卒業生 SNS～Kendai's Bar へのお誘い

<https://snweb.u-shimane.ac.jp/>

※ http の後に S がつきます。  
暗号化によって保護されています。



島根県立大学では、卒業生の方を対象とした SNS (Kendai's Bar) を開設しています。

このシステムは、県大卒業生、在学生ならびに教職員しかアクセス出来ないようになっていますので、安心してお使いいただけます。 携帯電話からもアクセス OK !

●登録の流れ ①「氏名」「ふりがな」「入学年度」「メールアドレス」をご明記いただいたうえで、メールアドレスを【SNS参加希望】とし、以下の大学事務局あてメールアドレスへ送信ください。

[career\\_all@u-shimane.ac.jp](mailto:career_all@u-shimane.ac.jp)

②ご記入いただいたメールアドレス宛に  
Kendai's Bar から、右の内容の招待メール  
を送ります。

招待メールが「迷惑メールフォルダ」に  
入る可能性があります。ご注意ください。

こんにちは! Kendai's Bar からの  
お知らせです。

大学事務局さんがあなたを  
Kendai's Bar へ招待しています。  
...

③メールに記載された登録用のリンクをクリックして、利用規約をご確認の上、ニックネーム(日記や掲示板で公開される名前です。ご自由にお付け下さい)、パスワード等の必要事項をお決め頂ければ登録完了です。

●皆さん同士のコミュニティー空間として、大学教職員へのお悩み相談窓口として、生涯学習に関する情報提供サイトとして、どうぞお気軽にご利用下さい。

### ◆会費納入のお願い◆

島根県立大学同窓会は、平成 16 年 3 月 19 日に設立され、終身会費 5,000 円で運営されています。既に多くの方々に納付いただいておりますが、まだ納付いただけてない方は、下記により納付いただきますようお願いいたします。

### ●納付方法●

#### ① 銀行振込

山陰合同銀行 浜田支店 (支店コード 043)  
口座番号 普通 3607995 ことま まさとし  
口座名義 / 島根県立大学同窓会 会長 児島 正俊  
住 所 / 島根県浜田市野原町 2433-2

#### ② 小為替の送付 (到着後、領収証を発行します)

郵便局で、5,000 円分の「普通為替証書」を購入後  
大学事務局まで郵送 (受取人指定欄、受取人欄には何も記入しないでください。)

島根県立大学同窓会事務局

(事務局キャリア支援室内)

〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2

TEL (0855) 24-2202、FAX (0855) 23-7352

E-mail [career@u-shimane.ac.jp](mailto:career@u-shimane.ac.jp)

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

今後も、年に 1 回程度会報を発行する予定です。卒業生の皆様からの在学生へのメッセージや近況報告などを掲載予定です。皆様のご協力を頂きますよう宜しくお願い致します。